

科博の目玉！ヨシモトコレクションで動物の分類をしよう！

ここに展示されている動物は、本物の動物のはく製標本（生存時の外観形態にほぼ近い状態で保存する技術で作成されたもの）だよ。



地球

館

3

階

1～5

大地を駆ける生命



1

気に入った動物を選ぼう



ヨシモトコレクションの展示から自分のお気に入りの動物を1種決めよう。そのまわりに展示されている4種の哺乳類を選び、動物名を書こう。

A

B

C

D

E

動物名

動物名

動物名

動物名

動物名

パンダ

トラ

ヒョウ

オオカミ

クマ

気に入った
動物

地球

館

3

階

1～5

大地を駆ける生命



2

気に入った動物の特徴をあげよう



気に入った動物の見た目の特徴をあげよう

毛色は黒色と白色

目と耳は黒色

四足歩行

丸っこい体格

ツメがある

体長はあまり大きくはない

他の動物と比較したときに違いが出やすい特徴を挙げるようにする。その動物にしか見られないような特徴ばかりを挙げないように気をつけさせる。

学習指導要領「いろいろな生物とその共通点」いろいろな生物の共通点や相違点に着目した学習と同様に、ヨシモトコレクションに展示されている動物の中から好きなものを選んで外見の特徴を比較し違いを見い出させる。

カメラがあれば撮影して記録をとるのも良いですね。





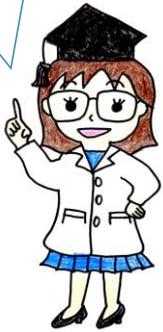
3

5種類の動物を仲間分けしよう

動物の特徴の中で、まず共通する点を見つけよう。共通点が見つかったら、分ける基準がわかってくるよ。

動物名 動物名 動物名

基準



2 であげた特徴を参考にして、5種類の動物について2つのパターンで仲間分けをしてみよう。分けるところで縦線を引こう

パターン1：分ける基準は（ **体表に柄があるかないか** ）

動物名または記号

トラ

動物名または記号

ヒョウ

動物名または記号

パンダ

動物名または記号

オオカミ

動物名または記号

クマ

パターン2：分ける基準は（ **体長が大きい** ）

動物名または記号

トラ

動物名または記号

クマ

動物名または記号

パンダ

動物名または記号

ヒョウ

動物名または記号

オオカミ



学術的に仲間分け（分類）した学者では、リンネや牧野富太郎が有名だよ。なぜ分類しようとしたのかな。



感じたこと

わかったこと

考えたこと

地球上に生物は数えきれないくらい生存している。そして、生物を外見でわかる形態に注目すると、共通点や相違点が数多く見られることに気付く。「生物」という大きなくくりで捉えるとあまりにも広く漠然とするが、生物がもつ特徴をもとにして、分けて類型化しようと試みると、多くの生物の情報が整理されていく。例えば、君たちも学校では「〇〇中学校の生徒」ではなく、「〇〇中学校、1年〇組〇班」というように学年やクラスと、より小さなグループに分類されて、生活に生かされている。

分類して共通点や相違点から観点や基準を設定して整理をしておくこと、例えば新しい未知の生物を発見した場合に、既知の生物と比較してより近いものを特定することにより、未知の生物を知る手がかりにもなる。分類することにより、早く効率的に情報を検索することも可能となる。



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

学習指導要領「いろいろな生物とその共通点」 この単元での学習の一つとして「動物の体の共通点と相違点」があります。ヨシモトコレクションには数多くの動物の展示があるので、その中から自分の好きな動物を選び他の動物と比較することで動物には外見的特徴からも分類することができることに気づかせる。そして、人は動物を仲間分けしようとしたのかについても思いを巡らせるきっかけとする。

年

組

番

氏名